

『三年とうげ』 人物関係図の例

たぶん、三年とうげに行  
った。  
おもしろい歌を歌った  
のは、たぶんトルトリ？

【ポイント】  
自分で想像した  
ことも、書きこ  
みましよう。

【ポイント】  
行動や会話だけで  
なく、大事だと思  
うことも書いてお  
きましよう。

【ポイント】  
中心人物、対人物を書くこ  
ろから始めよう。

対人物  
トルトリ

「おいらの言うとおりにすれば、おじさんの病気はきつとなおるよ。」  
「一度転ぶと、三年生きるんだろ。二度転べば六年。このように、何度も転べば、ううんと長生きできるはず。」

【ポイント】  
大事だなと思う会  
話や行動を書きこ  
みましよう。

【ポイント】  
矢印は、だれがだ  
れに「したか」「言  
ったか」を表すよ。

中心人物  
おじいさん



言いつたえ  
三年とうげで 転ぶでない  
三年とうげで 転んだならば、  
三年きりしか 生きられぬ。  
長生きしたけりや、  
転ぶでないぞ。  
三年とうげで 転んだならば、  
長生きしたくも 生きられぬ。

「うん、  
なるほど、  
なるほど。」

石につまづいて転んでし  
まう。

おじいさんは、とうとう  
病気になってしまふ。

わざとひっ  
くり返り、  
転んだ。

「えいやら えいやら え  
らやらや。一へん転べば  
三年で、十へん転べば三  
十年。百へん転べば 三百  
年。こけて 転んで ひび  
ついて、しりもちついて  
でんぐり返り。長生きする  
とは こりや めでたこと。」

「もう、わしの病気はなおっ  
た。百年も、二百年も、長生き  
できるわこ。」

【ポイント】  
中心人物の変容が分かったら、  
書いておきましよう。

すっかり元気になり、おばあさ  
んと二人なかよく、幸せに、長  
生きした。



- 【学習の手引き】
- 物語の読み方
  - ・登場人物を数える
  - ← 中心人物をとらえる
  - ・中心人物が「どうな  
ったか」をとらえる。  
「どうしてそうなっ  
たか」を読む。
  - 登場人物
  - ・自分から考えたり、  
話したりする人やも  
の
  - 対人物
  - ・中心人物の変容に大  
きなえいきようをあ  
たえた人物

- 人物関係図の書き方
- ① 中心人物、対人物を  
とらえて図に書こ  
う。
- ←
- ② | や ↓ を使って、中  
心人物と対人物がそ  
れぞれにしたことや  
言ったことを書いて  
いこう。
- ←
- ③ 関係する出来事も書  
きこんで、中心人物  
がどんな関わりの中  
で変容したのかを書  
こう。